

グリッドパーク

— 三角形で繋ぐ複合施設 —

山地里歩



▼ 計画敷地



▼ 地域課題

1 スケートパーク設置

現在、スケートボードによる公共施設の器物破損などにより計画敷地内にスケートボードに対する注意書きが張られている。そこで安全に利用できる新しいスケートパークを設置することで近隣住民にも安心して生活できる空間になると考えた。

2 使いにくい公衆トイレ

公衆トイレをリニューアルすることにより24時間安全に使用できるようにし、既存のトイレにはなかったバリアフリートイレも設計する。

3 避難場所の確保

一級河川である鶴見川の沿道に建築するため、緊急時に一時的な避難場所となるように建物を高めに設定し安全性を高める。

▼ 計画内容

横浜市鶴見区に新たなスケートパークと飲食店などの複合施設を設計する。鶴見川を一望できる土地の形状を活かした正三角形のグリッドを設定し、それに沿った建物を計画することで、地域の課題を解決すると共に地域の憩いの場となる空間をつくる。



▼ 平面図

